

総会報告会 (7月15日午前10時00分～10時40分)・プログラム:

(ZOOMによるWEB会議)

- (1) 開会挨拶と書面決議結果報告(総会報告会__資料1)
- (2) 臨時幹事会結果の報告(総会報告会__資料2)
- (3) 日本建築学会へのお礼と退任ご挨拶
- (4) 退任幹事へのお礼とご挨拶
- (5) 新しい主担当学会(日本災害医学会)・副担当学会(日本都市計画学会)の紹介と就任ご挨拶
- (6) 新規参加学会(日本航空宇宙学会)の紹介とご挨拶
- (7) 今年度の活動計画と、当面のシンポジウムに関する簡単な情報伝達(総会報告会__資料3)
- (8) WEB研究会の報告と第3回WEB研究会の紹介(日本災害看護学会)
- (9) 出席者からの一言と事務局の紹介

防災学術連携体 2020 年度の総会（書面決議）
結果報告

防災学術連携体の活動では、日頃から大変お世話になっております。

防災学術連携体 2020 年度の総会（書面決議）にご協力いただきまして、ありがとうございました。

皆様からの回答結果は以下のようです。

回答総数 92 名

（各学会の防災連携委員と特任会員の合計 141 名の過半数以上）

各議案に対する結果

第 1 号議案 2019 年度事業報告並びに決算に関する件

賛成 92 名、反対 0 名 （回答総数：92 名）

第 2 号議案 2020 年度事業計画並びに予算に関する件

賛成 92 名、反対 0 名 （回答総数：92 名）

第 3 号議案 防災学術連携体次期体制に関する件

賛成 92 名、反対 0 名 （回答総数：92 名）

以上より、上記の第 1 号議案～第 3 号議案は、いずれも賛成多数で承認されました。

防災学術連携体 役員リスト(2020-2021年度)

2020年7月

代表幹事	日本災害医学会代表理事	大友康裕
代表幹事	日本学術会議会員、防災減災学術連携委員会委員長	米田雅子
副代表幹事	日本都市計画学会常務理事	森本章倫
副代表幹事	日本学術会議連携会員	目黒公郎
運営幹事	日本学術会議連携会員	和田章
幹事	日本建築学会副会長	市之瀬敏勝
幹事	日本地図学会評議員	宇根寛
幹事	日本学術会議連携会員	小松利光
幹事	日本災害医学会理事	近藤久禎
幹事	砂防学会理事	執印康裕
幹事	日本自然災害学会元会長	高橋和雄
幹事	日本地球惑星科学連合代議員	高橋幸弘
幹事	日本学術会議連携会員	高橋良和
幹事	日本学術会議連携会員	寶馨
幹事	日本学術会議連携会員	田村和夫
幹事	土木学会専務理事	塚田幸広
幹事	日本学術会議連携会員	東畑郁生
幹事	日本学術会議連携会員	永野正行
幹事	日本気象学会副理事長	橋田俊彦
幹事	日本地震学会前理事	松島信一
幹事	日本学術会議連携会員	山本あい子
幹事	日本学術会議連携会員	山本佳世子
幹事	日本火山学会理事	吉本充宏
監事	日本学術会議連携会員	森口祐一
事務局長	日本災害医学会理事	近藤久禎
事務局長	日本学術会議連携会員	田村和夫

防災学術連携体 特任会員(追加)

特任会員 山本あい子氏 (日本学術会議連携会員)

2020年度 事業計画（案）

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

2020年度の事業計画について、防災学術連携体規約第4条（事業）の各事項に沿って、その内容を示す。

(1) 毎年シンポジウムを日本学術会議と連携して開催する

1) 第10回防災学術連携シンポジウム

「第5回防災推進国民大会」（内閣府・防災推進協議会・防災推進国民大会主催）に参加し、防災・減災に関連するシンポジウムを開催する。

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会・防災学術連携体（58学会）

日時：2020年10月3日（土）、4日（日） ⇒ **10月3日に決定（変更）**

会場：広島（広島国際会議場及びその周辺：予定） ⇒ **オンライン開催に変更**

⇒ **ぼうさいこくたい事務局の決定が1ヶ月以上延期され、オンライン開催に変更されたため、プログラムは会員の皆様と相談しながら決めることとする**
テーマは「複合災害への備え -with コロナ時代を生きる」とする

2) 第11回防災学術連携シンポジウム

日本学術会議 防災減災学術連携委員会と共催で、東日本大震災十周年を機に、これまでの活動を振り返り今後の取組みを発表するシンポジウムを企画・実施する。開催日は、1月7日（木）（または14日（木））を予定。

なお同時に、東日本大震災十周年「防災学術連携体 58学会の記録」の冊子を作成し、参加者及び関係各所に配布する。

⇒ **開催日は1月14日に決定**

開催場所は東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂を予定

開催方式・冊子に関わる実施要領は、今後詳細を検討する

（7月中に依頼メールを会員に送付予定）

テーマは「東日本大震災からの十年とこれから」～58学会、防災学術連携体の活動～ を予定

3) 緊急災害調査報告会・緊急メッセージの発信等

当該年度内に大規模災害が発生した場合、防災減災学術連携委員会と共催で、**緊急報告会や緊急メッセージの発信等を企画、実施する。**

(2) 各学会の取組み等を紹介する防災関連の学術総合ポータルサイトを運営する

防災学術連携体ウェブサイトについては、防災関連の学術総合ポータルサイトとして利用されることを目的として、ホームページには参加学会からのお知らせ、行事案内を集約、随時更新する。また、ホームページ上の各サイト「概要と参加学会」「各学会の防災関連

委員会紹介」「Activities Introduction」「常時の交流・連携と災害時の緊急連絡網」「近年の自然災害に関する情報」「学術フォーラム、公開シンポジウム」「声明・報告等」「学会出版物・メディア掲載情報」「国内外のお知らせ」「国際協力・学会連携」「防災推進国民会議・日本学術会議（防災関連）」「賛助会員」「Link」「防災連携委員のページ」において、より一層内容の充実を図る。

(3) 日本学術会議と連携して、学会間の連絡網を構築し、緊急事態において必要な活動を行う

常時は、学会間の連絡を緊密にするとともに、交流を促進するための手段として、災害などの緊急時には緊急連絡網として機能させることを目的として、防災連携委員、各学会の事務局の名簿の更新を継続する。

(4) 政府・自治体・関係機関等との交流を促進する

内閣府防災担当が事務局を務める防災推進国民会議に委員として参画するとともに、第5回防災推進国民大会に積極的に参加する。

また、公共放送（NHK）と共有する、各学会の防災学術連携委員と防災学術連携体幹事の緊急時の名簿を、適宜更新して活用する。

(5) 学会間の交流をすすめる、より総合的な視点をもつ研究者を育てる

1) Web 研究会

会員学会の連携を深めることを目的に、各学会から順に関心テーマを決めて戴き、防災連携委員・特任会員等を対象に、話題提供と質疑と討論を行う Web 研究会を定期的開催する。

2) データベースの更新と活用

各学会の防災関連委員会のデータベースについて、随時内容の更新を行い、常に最新の情報が閲覧できるようにする。学会間の交流を進める手段の一つとするとともに、市民や自治体などが各学会やその委員会、またはこれらが発信する情報へのアクセスを容易にすることを目的とする。

(6) 国際交流を進め、世界の防災に寄与する

防災学術連携体ウェブサイトにおいて、英文情報の更新を行い、海外に対する情報発信手段とする。また、防災学術連携体を構成する学会、防災連携委員、特任会員などを通じて、防災学術連携体の活動成果を海外に発信、世界の防災への寄与を図る。

(7) その他本会の目的を達成するために必要な事業を行う

防災学術連携体設立の社会に対する広報に資するために、各種報道機関からの取材申し込みに対して積極的に対応する。メディア掲載情報は、防災学術連携体ウェブサイトにとりまとめ、掲載する。